



清瀬二中だより

より豊か心をつちかう より深く自ら学ぶ よりよくはたらき責任をわたす よりたくましく心身をきたえる

教育目標

愛情 学力 勤労 健康

令和2年度 1月号

校長 牧口 弘一

〒204-0024

東京都清瀬市梅園 2-9-15

Tel 042-493-6312



再び、次の目標へ向けて旅立つ

校長 牧口 弘一

年が明けて、いよいよ令和3年が始まります。不思議なことに新年になると心は新鮮な気持ちになり、何か新しいことを始めたいくなるものです。新しいことへのチャレンジは、希望と緊張でワクワクもしますが、ドキドキもするものです。

昨年末に宇宙航空研究開発機構（JAXA）が打ち上げた探査機「はやぶさ2」が、小惑星「りゅうぐう」から「石や砂」を採取して地球に持ち帰ることに成功しました。「りゅうぐう」は、太陽系が誕生した46億年前当時の水や有機物が、まだ残されていると考えられており、「太陽系の誕生」と「生命の誕生」の秘密をさぐるためのミッションだと言われています。これから、世界中の科学者と協力して、何年もかけて分析が行われるということです。どんな物質が見つかり、どんなことが分かるのか今から楽しみです。

今回の探査は打ち上げから地球への帰還までの6年間、大きな故障やトラブルはなく、JAXAのプログラムマネージャーの津田さんは会見で、「100点満点で、1万点」とおっしゃっていました。そしてこの大成功には10年前に小惑星「イトカワ」から帰還した初代の「はやぶさ」の経験が不可欠だったとも話されていました。初代はやぶさは、エンジンがすべて壊れ、一時は行方不明にもなり、岩石採集装置もうまく作動せずに採取できた岩石（粒子）は10~300マイクロメートル（1マイクロメートルは、10億分の1cm）という微粒子のみで、顕微鏡を使わないと確認できないくらいだったそうです。

ありとあらゆることが、うまくいかず、予定を3年も遅れて満身創痍で地球に帰還し、最後は大気圏に突入して燃え尽きるという状況でした。はやぶさ2が資料の入ったカプセルを地球へ投下した後、再び別の小惑星の探査に旅立ったことと比べると雲泥の差です。しかし、この失敗の連続が、知識と経験という多くの財産になりました。そしてこの貴重な経験は、途中で投げ出したり、諦めたりせずに最後までやり通したことで得られたもので、はやぶさ2の成功につながりました。

上手くいった経験、上手くいかない経験、成功もあれば失敗の経験もあります。ですがどれも未来につながるものです。経験にはマイナスやプラスはありません。経験の大きさは絶対値で、 $(-10) + (+10)$ の答えは”0”ではなく、”20”になります。何かに挑戦すること、何かに取り組むことに、無駄なものはありません。

3年生の皆さんは、もうすぐ進路へのチャレンジが始まります。とても大きな経験です。1、2年生の皆さんは、進級まで3カ月となりました。3年生のような大きなチャレンジはないかもしれませんが、学習や行事、部活、様々な活動での経験を積み上げてください。4月からの新たな生活をより充実したものにするために、この3カ月で得る経験はきっと重要です。

さて、何を始めますか？ 何にチャレンジをしましょうか？

寒暖を繰り返しながら、だんだんと春が近づいています。4月になり生徒の皆さんが、再び、次の目標へ向けて、力強く、旅立つことを期待しています。



●市長賞 & 教育長賞 彰式

【税の作文・標語コンクール】 R2,12,23(水)

税の作文・標語コンクールの授賞式が年末にありました。例年は市役所で授賞式が行われていますが、今年は新型コロナウイルス感染症予防対策のため、教育長が来校されて校長室で実施しました。

本校から3名の生徒が、清瀬市長賞（作文部門）と清瀬市教育長賞（作文部門・標語部門）を受賞し、賞状と額縁、記念品を頂きました。教育長からのお祝いの言葉のさいには「20年後に立派な納税者となり、社会の問題を自分の事として考えて、行動に移せる人になる」という宿題が出されました。受賞、おめでとうございます。



■エコキャップ運動 ～生徒会活動～

今年は、新型コロナウイルス感染症予防のため、校外活動は控えており、街頭でのボランティア活動なども見送りました。そこで生徒会役員会では、校内でできるボランティア活動として「エコキャップ運動（発展途上国の児童へのワクチン接種支援）」の参加を企画しました。今回の校内キャンペーンで集まったペットボトルのキャップは27kgもあり、ワクチン26人分になりました。1位は3年2組で3.8kgも集めてくれました。すごいですね！ 2位は1年4組、3位は1年5組で、どちらも3kg越えでした。終業式の後、生徒会役員より校内放送による報告と各教室での表彰式がありました。ありがとうございました。

これも生徒たちが、この状況下で、今出来ることを考えて、見つけて実施した今年ならではの活動で、まさに、ただでは起きない清二中生です。



■「竹の水仙」落語噺 【1学年道徳】 R2,12,16(水)



1年生の道徳授業で、「人の気持ちがわかる人間を目指して」という主題で、「落語が教えてくれること」という読み物資料を使ってみんなで考えました。

左甚五郎という江戸時代の彫刻師（日光東照宮の「眠り猫」などの作者）の逸話をもとにした「竹の水仙」という落語噺を題材にした資料です。この授業のポイントは「相手の気持ちを想像する力」を伸ばすという、道徳の授業を通して、生徒の皆さんに培ってほしい力の中心ともいえる内容でした。パワーアップしましたか？

それはさておき、左甚五郎さんは、かなりの変わり者だったようですね。落語噺には、愛きょうのある人物がたくさん登場しますが、落語の世界のように、変わり者が認められる世の中は、素敵ですね。そんな社会にしたいですね。



●消毒作業ボランティア 第2弾 ありがとうございました。



2学期も新型コロナウイルス感染症対策のための校舎内共用部分の消毒作業について、地域・保護者の皆様によるボランティアのご参加を頂いて、実施できました。本校生徒のためにご協力をいただき、心より感謝いたします。年が明けても新型コロナウイルス感染症の終息が見えず、学校では今後も感染予防対策を続けていきます。



「感謝の手紙」プロジェクトに参加しました。

R2,12,24(木)

新型コロナウイルス感染症の終息が見えず、医療機関などへの負担が増している中、冬休み直前の12月22日に都教育委員会より「児童生徒から医療従事者の皆様へ、感謝と応援のメッセージを届けよう」というプロジェクトの通知が届きました。急ではありましたが本校でも生徒の皆さんに呼びかけて、朝読書の時間を利用して「感謝・応援カード」を作成し、早速郵送をしました。そして年が明けて、1月8日に一通の手紙が学校に届きました。



差出人は、生徒たちの「感謝・応援カード」を届けた東京都済生会向島病院院長の塚田信廣先生でした。

ご多忙の中、生徒の皆さんへのお礼とメッセージが詰まったお手紙を頂き、各学級で紹介をしてもらいました。文面からは、生徒の皆さんのメッセージが少しでも医療関係者の皆さんの励ましになったことの喜びを感じるとともに、切実な医療機関の状況や社会における本当の怖さを身近なものとして考えさせられる内容でした。あらためて自分たちに出来ることをやらなくては…と生徒たちも感じてくれたと思います。一日でも早くこの新型コロナウイルス感染症が終息すること願います。

清瀬市立清瀬第二中学校 の皆様
拝啓



初春の候、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

私は、東京都済生会 向島病院 院長の塚田と申します。

この度は、たくさんの励ましと労わりのメッセージをお送り頂きありがとうございました。皆様のとても心温まるメッセージを読んで、職員一同、感動し、涙を流している人もたくさんいました。病院職員を代表しまして心より御礼を申し上げます。

皆様方も大変な不安とストレス、不自由さの中で日々過ごされているとお察しいたします。この新しいウイルスは、肺炎などの病気を引き起こすウイルスであり、不安や恐れという人の心を傷つけるウイルスであり、不安や恐怖から「嫌悪・差別・偏見」を生み出すという人の弱さを明らかにするウイルスです。

どうぞ皆様、このようなウイルスに負けないでください。「正しく恐れよ」です。誰もが感染する可能性があります。人からうつされる心配をするより、自分の方が感染していると考えて他の人にうつさないように心がけることの方がとても大切であり、心も休まります。バランスの良い食事をとって、睡眠時間もたっぷり、手洗いをきちんと行って、人が集まる時、話す時にはマスクを着けるなど、標準的な予防をすれば大丈夫です。

今、私たち一人一人の覚悟が試されています。私たちの行動は、必ずや後で振り返った時に誇りを持って自分自身に語って聞かせることができる物語になると信じています。

これからも向島病院職員一同、皆様方の健康を守るため、少しでもお役に立てるように頑張ってみります。

先行きが見通せない中、どうせなら不確実性を楽しみましょう。皆様もどうぞお元気でお過ごしください。ありがとうございました。



敬具
令和3年1月6日
東京都済生会向島病院
院長 塚田 信廣

■2 学期大掃除 R2,12,24(木)

冬休み前の12/24に1年間の埃を落とすために、大掃除を行いました。生徒たちは、教室の机や椅子を廊下に出して、床にこびり付いた埃をゴシゴシと落とし、夏からフル回転のエアコンのフィルターを洗い、給食台もギュギュと拭き、窓や扉もきれいに拭きあげてくれました。最後の仕上げに美化委員が床にワックス掛けをしてくれ、



ピッカピカの教室が完成し、気持ちよく新年を迎えられました。ありがとうございました。

■年末、体育倉庫の大掃除作戦 ありがとう！ R2,12,26(土)

冬休みの初日、陸上部とバスケット部、サッカー部の生徒の皆さんが、練習の合間を使って、体育館とグラウンド倉庫、用具置き場の大掃除をしてくださいました。一度、倉庫内にある大量の荷物を外に出してから、中をきれいに掃いて、整理整頓をするという大仕事でした。とてもきれいになって、気持ちよく新年を迎えられました。ありがとうございます。



1 月行事予定

- 1日(金) 元日
- 6日(水) 冬季休業日終
- 7日(木) 始業式・安全指導
- 8日(金) 給食開始
- 11日(月) 成人の日
- 14日(木) 中央委員会



- 15日(金) 避難訓練
- 18日(月) 学校朝礼
- 19日(火) 専門委員会
- 22日(金) 英語検定
- 26日(火) 都立推薦入試、3年生給食なし
- 27日(水) 都立推薦入試、3年生給食なし



● 緊急事態宣言発令中の 新型コロナウイルス感染症対策への ご協力をお願い

現在、東京都には緊急事態宣言が発令され、市内中学校では部活動を中止にするなどの対応を行っております。政府や東京都からの情報によりますと、公立小中学校の児童生徒の感染経路では、家庭内感染の比率が高いようです。東京都済生会向島病院院長の塚田先生からのお手紙にもあるように、感染の広がりを抑えるには、一人ひとりが、「自分が感染をしているかもしれない」という意識で、「他の人に、広げない」という気持ちで感染予防をして、感染が広がりにくい環境を皆で創り出すことのように。各ご家庭におきましても「家庭にウイルスを持ち込まない」という意識での感染予防対策へのご協力をお願いいたします。どうぞよろしくお願いいたします。

【家庭における感染症対策のお願い】 ～ 家庭に持ち込まない行動 ～

- 3密の回避、正しい手洗い、咳エチケット（家庭内でのマスクの着用も）

※帰宅時の手洗いや消毒などの徹底をお願いします。

- 毎朝の検温、健康観察

※健康状態に不安がある場合は自宅での休養をお願いします。

※ご家族の中で発熱等の症状の方が出たり、通院をする場合も、同様に対応をしてくださると助かります。

- 十分な換気をお願いします。

- 手が触れる場所などの消毒をお願いします。

- タオルなどの共用はさけてください。

- 不要不急の外出はできる限り自粛して、買い物などの場合も、人数や時間は最小限にしてください。

- 体調が悪い方や重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患のある方は、会食を極力控えてください。

- 同居しているご家族についても外での会食などへの参加は出来るだけ控えてください。

